

# 高知市都市美デザイン賞受賞作品

第22回（2006年）

## —全体講評—

今年是一般建築部門13件、住宅建築部門6件、街並み・まちづくり部門1件、合計20件の応募があった。

入賞は一般建築部門2件、住宅建築部門1件を選出した。街並み・まちづくり部門は該当がなく、今回も特賞は該当なしであった。

一般建築部門の2点はいずれも高知の地域性を生かした建築材料を使い、また周辺環境との調和に配慮すると同時にデザインや建築全体の完成度が高く、都市美デザイン賞としてふさわしいものであった。一方、住宅建築部門は応募件数は少なかったが、その中において入賞作品は改修を通して、高知の伝統的民家の特徴を生かし、現代によみがえらせ、伝統と現代性を取り入れたという、今までの受賞作品とは違ったアプローチが評価された。

今回、入賞をのがしたものの評価された作品としては、ゆったりとした敷地に広い芝生、芝生の小山などの開放的な外部空間構成の評価が高かった病院建築や、ボリュームのある建築ではあるが、外壁に曲線を多用したり、色彩や材質などの工夫によって建築機能にマッチした好印象の公共施設が挙げられる。

## 一般建築部門 入賞

### セントビル 京町店

はりまや町



- 建築主： 株式会社セント
- 設計者： (有)西森啓史建築研究所
- 施工者： 入交建設株式会社

京町アーケード街に面する店舗建築である。コンクリート構造であるが、県産材の杉型枠による細かい木目、柔らかな色調の外壁に型枠からはみ出したコンクリートによる横目地が変化をつけている。また、丸窓のある天井から自然光を取り、天空に抜ける開放感があり、ファサードから見える1,2階を通した木枠のガラス窓はアーケードとよく調和している。2階まで伸びる玄関の樹木は丸窓からの光と共に街に自然を取り込み、アーケード街を行く人々に安らぎを感じさせる。樹木の水やりにも雨水を引き込む装置も作り、優しさと柔らかさと美しさを感じさせる丁寧に造られた完成度の高い建築である。

### 手打そば処 土佐更科 長浜店

長浜



- 建築主： 丸※内 道雄（※凡の旧字）  
(おおち)
- 設計者： 尾神 篤
- 施工者： 株式会社 富士ビルド

シンプルな切り妻の瓦屋根、総2階建てのそば店である。地元産の土佐漆喰と杉をたっぷり使い、1階外壁の下見板、太い木枠の2階の窓、正面1階の窓格子、妻壁には水切り瓦をイメージした銅板の水切りなど、これらの意匠が総合されて、力強く、美しく、そして素朴である。比較的交通量の多い道路に面しているが、建物の存在感は際だっており、和食そば処にふさわしい形態で、高知の地域性を生かした建築として、今後、周辺環境や都市美形成に貢献する建築である。

〇邸(改修工事)

朝倉



●設計者: 柳生武暉建築設計アトリエ

●施工者: 掛水 澄夫

朝倉駅から宗安寺へと続く道筋にある商家を改修した住宅である。外構の木の塀と門を生かし、南面と道路沿いのファサードを旧家のイメージを残して改修している。高知の夏の気候風土にあった涼しい風が通り抜ける開放的な住宅が再生されている。また外からかいま見える玄関アプローチのたたずまいは静寂で、和風住宅の奥ゆかしさが醸し出されている。敷地内の緑葉豊かなウバメガシの大木が再生された民家を一層引き立たせている。都市近郊の農家や都市の商家が急速に失われていく現在、民家再生による高知らしい住宅の継承は都市美の意匠の一つのありかたである。